

は
が



「今日はこっちに行こか」「ほんなら頼むで」配達先はメンバー同士話し合い

配食ボランティアグループ「ここにクラブ」では、毎週火曜日と金曜日に、配食サービスのお弁当を配達しながら、利用者の方々に声をかけ安否確認を行っています。「心をこめて配りたい。活動していて元気をもらいます」と、代表の北條茂幸さん。3月1日（火）の活動日は、27食を配りました。



配達に出発！
よろしくおねがいします

活動して元気が出る！仲間も増えた！！
配食ボランティア「ここにクラブ」

しかし、「近所や知り合いへ声をかけよう」とメンバー自身が仲間づくりを行い、会員不足を解消することができたそうです。同時に、『できるだけ自分の後輩を作ってから退こう』というルールもできました。

「楽しみに待って下さる方がおられるので、こうして時間を使うのも良いなと感じます」と、昨年4月に加入された「野那雄さん。先輩メンバーとともに配食サービスを担っていただいています。」

（波賀支部 岩井希望）

ち
くさ

おもちでつながる福祉の心 善意銀行と配食サービス



2月14日（月）千種保健福祉センターで、子育て支援センターに通う親子33名と託児ボランティア6名が集まり、餅つき大会が行われました。

この交流は、栗市善意銀行に寄託いただいた餅米のうち12kgを活用し、配食サービスのお弁当に添えるために企画したものです。

子どもたちは経験豊富なボランティアのお手並みを見た後、餅つき体験をしたり、つきたての餅を丸めて、お餅のやわらかい感触を楽しんでいました。

試食会では「味も伸びもやっばりちがう、杵つき餅はおいしい」とお母さん。「もっと食べたい」と子どもたちの声も。

出来上がったお餅はのどにつかないよう注意を呼びかけながら、15日と17日に配食サービスのお弁当



社協と子育て支援センターの共催でお餅つきを実施しました



「おもち、ほっぺたみたいにやわらかいよ」

当に添えて届けました。利用者からも「つき餅は、機械餅と違って、ええね。おいしゅういだけきました」と喜ばれました。

（千種支部 小原志のぶ）

読者の感想より

「お母さん文庫」の活動が、20年も続いているとはおどろきです。私も少しでも誰かのお役に立てるよう、がんばろうと思いました。（山崎町 女性）